

# 社会福祉法人 宝塚いくせい会

## 令和4年度 事業報告書

### I 総 括

本法人は平成24年の設立時より障害者総合支援法に基づいた就労継続支援事業、短期入所事業、宝塚市地域生活支援事業として日中一時支援事業を実施しています。また、公益事業として介護保険法による指定福祉用具の貸与、販売を就労活動として行い、数多くの利用者にサービスを提供することにより社会福祉に寄与しています。

令和4年度は、中長期計画を基本に事業運営会議、業務改善委員会の実行を行い、法人に内在する問題を明確化した年度になりました。

現場・運営が周囲の要望を漫然と受け入れるだけでなく、法人理念に基づいた目標を主体的に定め、理事・評議員会と一体となった法人運営を行い、地域及び関連機関に示していく事が重要であると考えています。

### II 経 営 成 績

#### 事業活動計算書(法人全体)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
事業活動収益	238,473,199 円	241,783,961 円	△ 3,310,762 円
サービス活動収益	235,998,575 円	239,055,553 円	△ 3,056,978 円
うち、就労支援事業収益	105,306,302 円	105,916,774 円	△ 610,472 円
うち、自立支援給付費収益	90,488,081 円	97,236,948 円	△ 6,748,867 円
うち、宝塚市受託事業収益	29,663,982 円	26,371,887 円	3,292,095 円
サービス活動外収益	2,454,626 円	2,541,435 円	△ 86,809 円
特別利益	19,998 円	186,973 円	△ 166,975 円
事業活動費用	229,865,133 円	231,264,989 円	△ 1,399,856 円
サービス活動費用	228,480,822 円	227,855,026 円	625,796 円
うち、人件費	92,193,045 円	90,614,306 円	1,578,739 円
うち、事業費	11,474,068 円	12,245,429 円	△ 771,361 円
うち、事務費	15,808,919 円	15,673,058 円	135,861 円
うち、就労支援事業費用	104,695,382 円	105,180,027 円	△ 484,645 円
うち、減価償却費	4,529,652 円	4,543,313 円	△ 13,661 円
サービス活動外費用	1,368,796 円	1,552,038 円	△ 183,242 円
特別損失	15,515 円	1,857,925 円	△ 1,842,410 円
差 引	8,608,066 円	10,518,972 円	△ 1,910,906 円

令和4年度の法人全体の経営成績は、約860万の黒字決算(前年比約191万減)になりました。

事業収益については2億3847万円(約331万減)で、前年度のENJOYハウス終了に伴う短期入所事業の自立支援給付費減収分(約802万減)を、日中一時支援の増収(約329万増)と就労継続支援事業の増収分(約127万増)が補った形になりました。就労支援事業収益については、ほぼ横ばい(約61万減)になりました。

事業活動費用のうちサービス活動費用については、人件費の増加が想定よりも低かったこと(約158万増)や、新型コロナウイルス対策費用の支出減による事業費の減少(約77万減)により、前年度よりも62万増にとどまり、事業活動費用については、前年度のENJOYハウス閉所に伴う特別損失がなくなったため、2億2986万円(約140万減)となっています。

### Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

#### Ⅲ-1 就労継続支援A・B型事業（宝塚育成事業所）

就労継続支援A型事業については、雇用契約に基づいた生産性を求めながら、宝塚育成事業所の牽引力を期待していきます。

令和4年度は利用者11名の運営から始まり、5月に60代利用者が就労継続支援B型移行し、同月に50代利用者が就労継続支援B型より内部昇格して、11名で運営しました(利用率90.0%)。訓練等給付費(支援費)については、今年度より賃金向上指導員配置加算を算定したことにより、増収となっています。

就労継続支援B型については地域に根差した生産活動を行いながら、就労継続支援A型などからの高齢化に伴う移行や、他施設（生活介護施設、就労継続支援B型、入所施設）からの若い年代の受け入れを行い、社会人、職業人としての自己意思決定などの支援を行っています。

個別性の高い利用者については機関との連携を行いながら適正な支援を行います。

令和4年度については、定員15名に対して15名で運営を開始、5月に就労継続支援A型への内部昇格と、移行があり、9月に他施設からの新規入所により、3月末で16名の運営になっています。

利用者1名の怪我による長期休養と、高齢利用者の利用日数減が利用率の低下に関連していますが(利用率93.6%)、支援費については前年度途中から算定している目標工賃達成指導員配置加算により、現状維持になっています。

##### (1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区分		令和4年度	令和3年度	増減
A 型	定員	12 人	12 人	人
	契約人数	11 人	11 人	人
	年間開設日数	239 日	239 日	日
	訓練給付費	22,183,169 円	21,019,603 円	1,163,566 円
B 型	定員	15 人	15 人	人
	契約人数	16 人	16 人	人
	年間開設日数	239 日	239 日	日
	訓練給付費	29,140,658 円	29,027,670 円	112,988 円
訓練等給付費合計		51,323,827 円	50,047,273 円	1,276,554 円

各年度 3月31日現在

##### (2) 就労支援事業の実施事業

###### ① 生産活動業務

###### 【就労継続支援A型】

- ・ 介護保険適用福祉用具貸与事業(契約件数 494件(12月現在))、福祉用具販売事業
- ・ 宝塚市公園維持管理業務(A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 福祉用具の消毒作業の受託(A・B型間での作業分担明確化)

###### 【就労継続支援B型】

- ・ 介護保険適用外福祉用具貸与事業(契約件数 474件(12月現在))、福祉用具販売事業
- ・ 宝塚市公園維持管理業務(A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 福祉用具の消毒作業の受託(A・B型間での作業分担明確化)
- ・ 軽作業の受託
- ・ 就労継続支援A型事業からの福祉用具消毒作業の受託

## ② 就労支援事業収支の状況

区 分		令和4年度	令和3年度	増減
A 型	収 益	84,518,115 円	86,290,613 円	△ 1,772,498 円
	費 用	84,047,093 円	85,828,230 円	△ 1,781,137 円
	差 引	471,022 円	462,383 円	8,639 円
B 型	収 益	20,788,187 円	19,626,161 円	1,162,026 円
	費 用	20,648,289 円	19,351,797 円	1,296,492 円
	差 引	139,898 円	274,364 円	△ 134,466 円
合 計	収 益	105,306,302 円	105,916,774 円	△ 610,472 円
	費 用	104,695,382 円	105,180,027 円	△ 484,645 円
	差 引	610,920 円	736,747 円	△ 125,827 円

就労収益については、ほぼ現状維持の成績でした(前年比99.4%)。貸与事業は顧客数の伸び悩みなどにより減収でしたが、販売事業や消毒事業が増収でした。令和4年度の就労継続支援A型の収支は約47万円の黒字で、就労継続支援B型の収支についても約14万円の黒字になりました。なお、この黒字額については、就労継続支援A型・B型共に工賃変動積立金に、積み立てることにしました。

## ③ 賃金及び工賃の状況

区 分		令和4年度	令和3年度	増減
A型	人 数	11 人	11 人	人
	最賃適用者	6 人	5 人	1 人
	賃金総額	13,478,350 円	12,903,236 円	575,114 円
	平均月額賃金	102,109 円	92,829 円	9,280 円
B型	人 数	16 人	16 人	人
	工賃総額	6,947,210 円	6,929,555 円	17,655 円
	平均月額工賃	37,963 円	37,457 円	506 円

就労継続支援A型は、最低賃金適用者の増加(5人→6人)や、10月の最低賃金額の上昇(928円→960円)により支給総額が増加し、平均月額賃金は10万円の大台に乗っています。

就労継続支援B型の平均月額工賃については、10月に基礎給を上げましたが(800円/日→850円/日)、最高工賃支給者の就労継続支援A型への内部昇格や、長期休養利用者や高齢利用者、新規利用者の最低工賃の適用などで支給総額、平均月額工賃とも微増にとどまっています。

### (3) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
サービス管理責任者	1		1
生活支援員	2	2	4
職業指導員	4	3	7
事務員	1	1	2
合 計	9	6	15

令和5年3月31日現在

### Ⅲ-2 単独型短期入所事業（安倉ホーム・来夢）

今年度より安倉ホーム、来夢の2か所での事業運営を行いました。ENJOYハウスの閉所に伴う事業の混乱が予想されましたが大きな問題も生じず、この一年間で利用者も職員も新しい体制の中で落ち着きも見られてきています。

ただ一方で、職員体制の問題（勤務時間、人員不足、高齢化など）やより多くの支援を必要とする利用者の受け入れについての問題など山積する多くの課題もあります。

今後、短期入所事業そのもののありかたを検討していく場づくりを関係機関との連携のもと考えていく必要があります。

#### (1) 短期入所運営状況

##### 【安倉ホーム1（男性対応）】

区分	令和4年度		令和3年度		増減		備考
定員	4	人	4	人		人	
年間開設日	240	日	214	日	26	日	
年間利用者(実数)	17	人	11	人	6	人	
年間延べ利用者	673	人	388	人	285	人	
平均利用者数/日	2.8	人/日	1.8	人/日	1.0	人/日	

##### 【安倉ホーム2（男性対応）】

区分	令和4年度		令和3年度		増減		備考
定員	4	人	4	人		人	
年間開設日	239	日	182	日	57	日	
年間利用者(実数)	18	人	10	人	8	人	
年間延べ利用者	596	人	346	人	250	人	
平均利用者数/日	2.5	人/日	1.9	人/日	0.6	人/日	

##### 【来夢(女性対応)】

区分	令和4年度		令和3年度		増減		備考
定員	4	人	4	人		人	
年間開設日	186	日	214	日	△ 28	日	
年間利用者(実数)	18	人	10	人	8	人	
年間延べ利用者	441	人	546	人	△ 105	人	
平均利用者数/日	2.4	人/日	2.6	人/日	-0.2	人/日	

#### (2) 介護給付費の状況

区分	令和4年度		令和3年度		増減		備考
安倉ホーム	28,810,372	円	16,146,113	円	12,664,259	円	
来夢	10,353,882	円	11,363,852	円	△ 1,009,970	円	
ENJOYハウス(参考)	-	円	19,679,710	円	△ 19,679,710	円	
合計	39,164,254	円	47,189,675	円	△ 8,025,421	円	

#### (3) 職員配置状況

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	2(生活支援員と兼務)		
生活支援員	3	1	4
調理員 (安倉ホーム、来夢)		4	4
合計	3	5	8

令和5年3月31日現在

### Ⅲ-3 日中一時支援事業（つばさ&ミッキー）

令和4年度は職員体制に大きな変化が生じ、一からの事業形成が必要となる一年となりました。職員1名の退職に伴い、新たに女性1名、男性1名の正規職員の採用により、更なる日中一時支援事業の充実のための土台作りに努めました。

事業の運営面では宝塚市の日中一時支援事業のガイドラインの変更に伴い、サービス提供のために必要な支援員の資格取得を進めることにより、今までと同様の利用者の受け入れを可能にしました。

変化の1年でしたが、次年度への土台が出来上がったのではないかと思います。

#### (1) 日中一時支援運営状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減	備考
定員	15 人	15 人	人	
年間開設日	242 日	218 日	24 日	
年間利用者(実数)	65 人	66 人	△ 1 人	
学齢児童	32 人	33 人	△ 1 人	
成人(18歳以上)	33 人	33 人	人	
年間延べ利用者	3,131 人	2,900 人	231 人	
学齢児童	1,497 人	1,307 人	190 人	
成人(18歳以上)	1,634 人	1,593 人	41 人	
年間延べ利用時間	14,597 時間	12,873 時間	1,724 時間	
学齢児童	7,392 時間	6,655 時間	737 時間	
成人(18歳以上)	7,205 時間	6,218 時間	987 時間	
平均利用者数/日	12.9 人	13.3 人	△ 0.4 人	

※ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です

#### (2) 受託事業収益の状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減	備考
宝塚市受託事業収益	29,663,982 円	26,371,887 円	3,292,095 円	
利用者負担金収益	3,147,948 円	2,786,175 円	361,773 円	
合計	32,811,930 円	29,158,062 円	3,653,868 円	

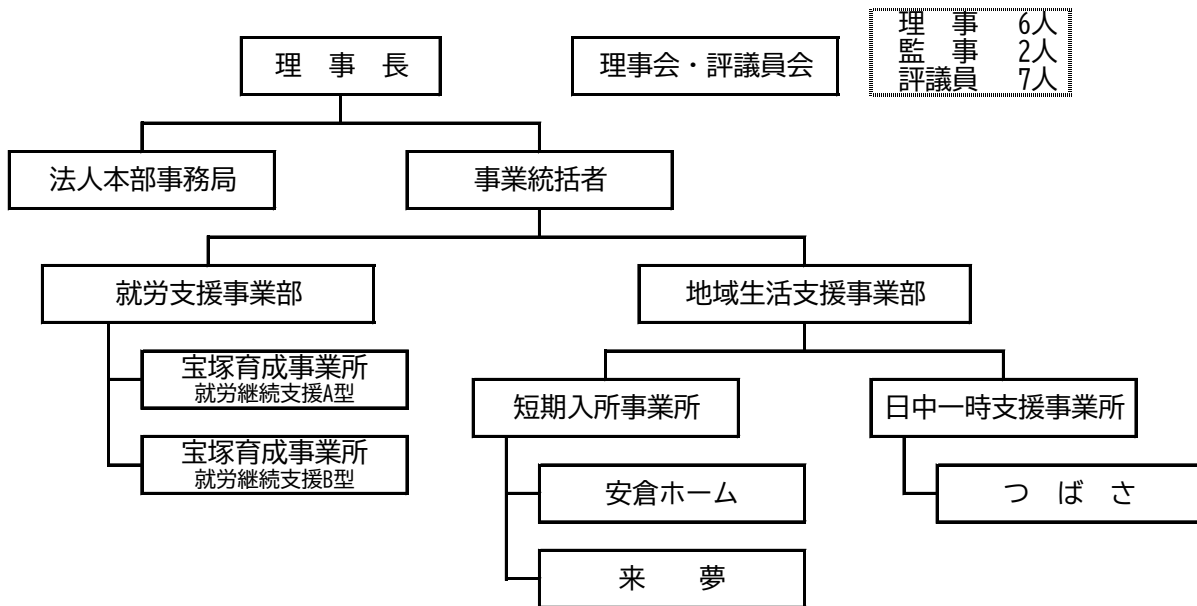
#### (3) 職員配置状況

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
生活支援員	3	6	9
合計	4	6	10

令和4年3月31日現在

## IV 法人の状況及び運営等

### IV-1 法人の組織



### IV-2 職員の状況

区分	令和4年4月1日	雇用(4月1日を含)	退職(3月31日を含)	令和5年3月31日
正規職員	16 人	4 人	2 人	16 人
男性	7 人	1 人	1 人	7 人
女性	9 人	3 人	1 人	9 人
嘱託職員	4 人	1 人	1 人	4 人
男性	3 人	1 人	1 人	3 人
女性	1 人	1 人	1 人	1 人
臨時職員	14 人	6 人	1 人	17 人
男性	5 人	2 人	1 人	6 人
女性	9 人	4 人	1 人	11 人
合計	34 人	10 人	4 人	37 人
男性	15 人	3 人	2 人	16 人
女性	19 人	8 人	3 人	21 人

区分	30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計
正規職員	2	2	3	9			16 人
男性	1	1		5			7 人
女性	1	1	3	4			9 人
嘱託職員						4	4 人
男性						3	3 人
女性						1	1 人
臨時職員	3	4		3	2	5	17 人
男性		4		1		1	6 人
女性	3			2	2	4	11 人
合計	5	6	3	12	2	9	37 人
男性	1	5		6		4	16 人
女性	4	1	3	6	2	5	21 人

令和5年3月31日現在

### IV-3 役員等の選任状況

①役員(理事及び監事)

選任日	令和3 (2021) 年6月28日
任 期	(自) 令和3 (2021) 年6月28日 (至) 令和5 (2023) 年6月開催の定時評議員会終結時まで
理 事 理 事 理 事 理 事 理 事 理 事 監 事 監 事	浅山 みゆき 植戸 貴子 小原 正義 小原 冷子 松下 祐介 山下 和美 高橋 千明 山本 信也 (敬称略、五十音別)

②評議員

選任日	令和2 (2020) 年6月23日
任 期	(自) 令和2 (2020) 年6月23日 (至) 令和6 (2024) 年6月開催の定時評議員会終結時まで
評議員 評議員 評議員 評議員 評議員 評議員 評議員	今北 さゆり 久保 明子 辻井 善弘 西田 弓子 紅山 修 山田 精一 米田 直人 (敬称略、五十音別)

#### IV-4 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回理事会
開催日時	令和4（2022）年5月27日(金) 14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中6名出席 監事2名出席
議 題	第1号議案 令和3年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について 第2号議案 令和4年度資金収支予算（第1回補正予算）について 第3号議案 評議員会の招集について 第1号報告 障害福祉サービス事業に係る運営規程改正の専決報告について その他 宝塚いくせい会中長期計画について

会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	令和4（2022）年6月23日(木) 14：00～
開催場所	宝塚いくせい会 別棟 会議室
出席者数	評議員7名中4名出席(辻井評議員・山田評議員・今北評議員欠席) 監事1名出席(高橋監事欠席)
議 題	第1号議案 令和3年度事業報告及び決算の承認について その他 宝塚いくせい会中長期計画について

会議の名称	第2回理事会
開催日時	令和4（2022）年8月24日(水) 14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名(山下理事欠席)出席 監事2名出席
議 題	第1号議案 令和4年度資金収支予算（第2回補正予算）について 第1号報告 第3者委員の変更について 第2号報告 令和4年度第1四半期業務執行状況について

会議の名称	第3回理事会
開催日時	令和4（2022）年11月30日(水) 14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名(植戸理事欠席)出席 監事2名出席
議 題	第1号議案 令和4年度 資金収支予算（第3回補正予算）について 第1号報告 令和4年度 第2四半期業務執行状況について

会議の名称	第4回理事会
開催日時	令和5（2023）年2月24日(金) 14：00～
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事1名出席(高橋監事欠席)
議 題	第1号報告 令和4年度 第3四半期業務執行状況について

会議の名称	第5回理事会
開催日時	令和5（2023）年3月22日(水) 14：00～
開催場所	宝塚育成事業所 食堂
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事2名出席
議 題	第1号議案 令和5年度事業計画及び資金収支予算（当初予算）について 第2号議案 社会福祉法人宝塚いくせい会職員給与規程の改正について 第3号議案 社会福祉法人宝塚いくせい会嘱託職員等の就業規則の改正について



#### IV-5 職員研修

前年度までのオンライン研修や録画型によるオンデマンド研修に加えて、対面型の研修も徐々に増えてきており、様々な形式の研修などに参加しました。

また、令和4年度の障害者虐待防止研修の実施については、業務改善委員会参加の現場職員が企画運営を行い、法人全体研修として行いました。

##### 【主な研修事業】

研修の名称	バリアフリー展
開催日時	令和4年6月10日
開催場所	インテックス大阪
出席者	宝塚育成事業所 職員

研修の名称	eラーニング 虐待につながる「感情労働」について
開催日時	令和4年6月29日
開催場所	宝塚育成事業所 (オンライン)
出席者	宝塚育成事業所 職員 1名

研修の名称	行動援護従事者養成研修
開催日時	令和4年9月28日・10月5日・12日 10月13日・20日・27日
開催場所	三幸福社カレッジ西宮 未来ケアカレッジ三宮
出席者	日中一時支援事業所「つばさ」職員 2名

研修の名称	国際福祉機器展・JSN東京・全国手をつなぐ育成会連合会
開催日時	令和4年10月6・7日
開催場所	国際展示場 等
出席者	宝塚育成事業所 事業所長

研修の名称	個別支援計画研修
開催日時	令和4年12月2日
開催場所	宝塚育成事業所(オンライン)
出席者	宝塚育成事業所 職員2名

研修の名称	就労支援フォーラムNIPPON 2022
開催日時	令和4年12月17日・18日
開催場所	国際展示場
出席者	宝塚育成事業所 職員2名

研修の名称	宝塚いくせい会 法人全体研修
開催日時	令和5年2月11日
開催場所	宝塚市立公民館 西公民館
出席者	宝塚いくせい会 職員31名

研修の名称	WORK! DIVERSITYカンファレンス
開催日時	令和5年3月3日
開催場所	宝塚育成事業所(オンライン)
出席者	宝塚育成事業所 職員2名

研修の名称	就労支援SUBフォーラム
開催日時	令和5年3月17日
開催場所	野村コンファレンスプラザ日本橋
出席者	宝塚育成事業所 事業所長

研修の名称	宝塚育成事業所 全体ミーティング 内部研修
-------	-----------------------

開催日時	隔月実施（全5回）
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所職員 14名
議 題	利用者ケース共有 GW あたらしい職員さんから教えてもらおう GW 虐待につながる「感情労働」について 研修報告を受けて GW 自分の強みと弱み、言えますか？ GW 宝塚育成事業所のみんなってどんなタイプ？ 障がいと介護の連携支援会議について 発達障害って？ そもそも知的障害って？

#### IV-6 連携会議 講演 発表 など

社会福祉法人として地域との連携は不可欠なものとして、様々な形の協議体に参加を行い、協議体での研修や展示会などの企画運営も積極的に行う様になっています。

また、法人としての地域貢献事業として、宝塚育成事業所の介護保険適用外事業についての発信を積極的に行い、12月には就労支援フォーラム2022での登壇を行っています。  
他事業所よりも進んでいる利用者の高齢化に対しての介護保険との連携については隔月開催の連携支援会議を通じてそのノウハウや、課題を発信しています。

##### ①主な協議会等参加状況

会議の名称	宝塚市自立支援協議会 しごと部会
開催日時	隔月実施（奇数月）
開催場所	市役所・中央公民館など
出席者	宝塚育成事業所 所長（副部長）

会議の名称	宝塚市社会福祉法人連絡協議会
開催日時	毎月実施
開催場所	総合福祉センター 他
出席者	宝塚育成事業所 所長（副代表 障害代表）宝塚育成事業所 職員（地域貢献部会）

会議の名称	宝塚市介護保険事業者協会
開催日時	隔月実施
開催場所	ZOOM開催
出席者	宝塚育成事業所 職員

会議の名称	宝塚市共同受注窓口連絡会
開催日時	毎月実施
開催場所	宝塚育成事業所
出席者	宝塚育成事業所 所長（理事）

##### ②発表 講演 研修企画運営

講演の名称	就労支援フォーラムNIPPON 2022 登壇
開催日時	令和4年12月17日
開催場所	国際展示場
出席者	宝塚育成事業所 所長
議 題	施設利用者の労働者性って ～「工賃高くても、雇用じゃない」に対して考え続ける

講演の名称	放課後デイサービスネットワーク 講演
開催日時	令和5年2月13日
開催場所	総合福祉センター
出席者数	宝塚育成事業所 所長
議 題	こどもの支援で大切な視点 ～つながっていること、意識していますか？

講演の名称	宝塚育成事業所 保険外福祉用具貸与事業について 講演
開催日時	令和4年6月～10月 計7回
開催場所	総合福祉センター、光明会館、聖隷すみれ・花屋敷・宝塚、ステップこはま など
出席者	宝塚育成事業所 所長
議 題	保険外貸与事業について 宝塚育成事業所について

企画の名称	宝塚市地域福祉研修 企画運営
開催日時	令和4年10月14日
開催場所	総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 職員
議 題	地域福祉研修 企画 地域福祉研修 当日運営 ファシリテーターなど

企画の名称	宝塚市障害福祉サービス合同事業者説明会 企画運営
開催日時	令和4年12月14日
開催場所	総合福祉センター(オンライン開催)
出席者	宝塚育成事業所 所長
議 題	合同事業者説明会 企画 合同事業者説明会 当日運営

企画の名称	宝塚市福祉用具展示会 企画運営
開催日時	令和5年2月14日
開催場所	総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 職員
議 題	福祉用具展示会 企画 福祉用具展示会 当日運営

企画の名称	障がいと介護の連携支援会議 主催
開催日時	隔月実施 (全5回)
開催場所	総合福祉センター
出席者	宝塚育成事業所 所長 職員
議 題	障害サービスを中心とした介護・医療サービスとの支援連携・検討について 厚生労働者社会保障審議会 障害者部会 総合支援法見直しについて 高齢障がい者の介護認定に関する解釈について 国連障害者権利条約 対日審査結果を受けて 精神・発達障がい利用者の慢性期医療と地域移行の現場について

#### IV-6 中長期計画の取り組み

令和3年度に策定した中長期計画については、運営会議で具体的な取り組みに置き換え実施している所です。業務改善委員会や事業運営会議、理事会、評議員会の際にその進捗状況を確認していく事で、継続的な事業改善を図っていきます。

重点取り組み項目の進捗状況 令和3年度～令和4年度

中項目	課題	具体的取り組み	状況
組織体制	内部管理体制	運営会議の実施	令和3年6月より月2回の定期的な実施を行う。
		業務改善委員会の実施	令和4年7月より月2回の暫定的実施を行う。
		総務機能の連携強化	福祉経営コンサルティングの導入を検討。
人事	人材確保	広報の強化 養成校連携 中途採用の情報取得	法人HPの再作成に着手。 日中一時支援：令和4年5月に採用の臨時職員が令和4年9月に正規職員に。 就労継続支援：保育士養成校の実習から、令和4年10月より臨時職員、令和5年4月に正規職員に採用。
安定した経営	稼働率、契約者	現状の稼働率の分析	稼働率について、分析を行い共有できるだけの、職員の意識の向上を図る必要がある。
	財務処理能力	資産・収支状況の確認	税理士との顧問契約に加え、福祉経営コンサルティングの導入を検討。
障害サービス	短期入所事業	事業再編について 事業のあり方の見直し	各関連機関などの協力を仰いで、「短期入所事業のあり方検討委員会」を令和5年度より実施。
	日中一時支援事業	日中一時支援事業の再編	令和4年4月と9月に臨時職員より正規職員採用を行い、職員2名が業務改善委員会に参加をする中で強化点や改善点などの洗い出しを行う。
権利擁護	虐待防止の意識向上	法人全体研修の実施など	法人全体研修として2月に虐待防止研修を実施。
	ハラスメント対応強化	職員面談・アンケートの実施	職員面談は令和5年3月実施。アンケートは未実施。
理念の理解	研修・サービス 管理の充実	職員面談の実施 研修計画の作成	業務改善委員会にて2月の法人全体研修の実施や令和5年度の研修計画について検討を行う。
支援力の向上		職員研修の実施	eラーニングの導入を令和4年10月より実施。 業務改善委員会で具体的運用方法を検討
	情報の共有	データベース システムの検討	サーバPCを利用した情報共有を行えるように令和5年度にネット環境を構築予定。

それ以外の項目の進捗状況(抜粋) 令和3年度～令和4年度

中項目	課題	具体的取り組み	状況
安定した 事業経営	BCP計画の策定	他法人・機関の作成を 参考に計画を策定	未着手の状況、令和5年度中の策定を行う。
	市建物無償譲渡物件	宝塚市との窓口の確認	市、法人それぞれの窓口担当の確認を行う。
組織体制の確立	次期幹部職員 の育成	第5期での次期幹部職員 の登用を検討	未着手の状況。令和6年度の具体的な組織改編を見据え、令和5年度の運営会議で検討。
人事	人事給与面の検 討	評価方法・給与制度の 研究実施	未着手の状況。次期幹部職員の登用に並行して検討していく。
事業分析	新規事業の検討	ニーズの検討	特定相談支援事業の立ち上げに向けて検討を行う。
地域貢献事業	地域貢献事業の発信	保険適用外事業の発信	市内地区会議などやフォーラムでの発信を行う。
介護サービス	福祉用具専門 相談員の確保	福祉用具専門 相談員の増員	令和5年度入職の新卒職員が福祉用具専門相談員として配置予定。
法人間連携	法人間の連携	宝塚市手をつなぐ育成会	年4回ほど定期的に情報交換を行う。
		宝塚さざんか福祉会	定期的に情報交換を検討する。
		宝塚市社会福祉協議会	運営のアドバイスなどで連携を深めていく。
		その他の団体	自立支援協議会・法人連絡協議会・共同受注窓口など

IV-7 その他の取り組み

時 期	項 目
4月	宝塚育成事業所 見学（宝塚さざんか福祉会新任職員 2回）
5月	宝塚育成事業所 消防点検
	宝塚育成事業所 安倉ホーム 来夢 つばさ 害虫駆除作業
7月	宝塚いくせい会本部引っ越し(7月27日) 敷地内の隣接する建物2Fに移動
8月	宝塚育成事業所 園田学園女子大学保育実習Ⅲ受入（8月29日～9月9日）
9月	宝塚育成事業所 下水排水管 修繕
10月	宝塚育成事業所 車輛更新（クリッパー）
	法人職員、宝塚育成事業所利用者健康診断
	つばさ・来夢 消防点検
11月	宝塚育成事業所 利用者 インフルエンザワクチン接種
12月	宝塚育成事業所 消防点検
1月	宝塚育成事業所 マットレス乾燥機更新
	つばさ 車輛更新（キャラバン）
	宝塚育成事業所 見学（阪神北就労・生活支援センター）
	宝塚育成事業所 食器消毒保温庫更新
	宝塚育成事業所 甲子園短期大学保育実習Ⅰ受入（1月30日～2月13日）
2月	宝塚育成事業所 車輛更新（キャラバン）
	宝塚育成事業所 園田学園女子大学保育実習Ⅰ受入（2月27日～3月10日）